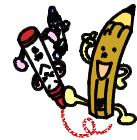


学習指導だより NO.3

H28.6.30

下野市立吉田西小学校

まなび



今年度の研究テーマ（学校課題）～第1回研究授業を終えて～

学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ児童の育成

～言語力を高める指導法の工夫改善を目指して～

6月15日に1回目の研究授業が行われました。

1年生 国語「くちばし」の授業で、小学校最初に出会う説明文の学習で、説明の順序や内容を考えながら読むことができるようにすることがねらいです。低学年では、時間や事柄の順序に従って内容を押さえて読むことが必要となります。

言語力を高めるための手だてとして

①くり返して読む

何度も読むことにより「問い」と「答え」の文末表現に慣れ、文章に親しむことができます。授業の中でも、一斉読み・役割読みなど、読み方を変えてくり返して音読しました。また、一人一人が文カードを手元で並び替える操作することで、さらに一人でも読みました。音読は言語力を高めるための基礎となる大切な活動であると考えています。



毎日の宿題での音読により、大きな力がついていきますので、これからも聞いてあげてください。そして、上達しているところをほめてあげてください。

また、生き物について説明している文章を読む活動へつなげるため、「とりのコーナー」を教室に設置し、読み物や図鑑をいつでも手に取って読めるようにしました。読書が役立つことを実感させるための環境作りも大切になります。

ご家庭でも、お子さんの手に取りやすい場所に本を置いて、日常的に読む習慣作りをしてみてください。

②語彙を増やす

くちばしの形を表す言葉は、挿絵や写真と対応させたり動作化をしたりしました。一つ一つ確認していくことで、言葉の意味や使い方の理解を深めることができました。こうした積み重ねにより語彙を増やしていけると思います。

お子さんは言葉の意味をどこまで分かって使っているでしょうか。別の言葉で言い換えをさせたり、動作や図などで説明させたりしてみるとわかるかもしれません。

